

平成28年度 医動物・種類同定検査のまとめ(10～3月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成28年10月から平成29年3月の種類同定検査件数は、11件でした。内訳は昆虫類5件(ハエ目3件、カメムシ目1件、コウチュウ目1件)、その他の節足動物6件(ダニ目1件、クモ目5件)でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
新築一戸建てのリビングに翅のある小さな虫が多数みられた。		ユスリカ類 数種 (ハエ目)	ユスリカ類は種類数が多く、国内に1200種以上が生息する。生息域は広く、多くの種が池、湖、川などから発生する。成虫が灯火に導かれ家屋内に侵入し、不快害虫となることがある。
	成虫、黒色、2mm		
		クロバネキノコバエ科 の一種 (ハエ目)	クロバネキノコバエ科は国内に100種ほどが生息している。幼虫は腐植物質から発生する。成虫の生息場所は主に屋外であるが、屋内へ侵入し、不快害虫となることがある。
	成虫、黒色、3mm		
家の網戸に虫がいた。		ハナバエ科の一種 (ハエ目)	ハナバエ科の幼虫は、植物の根や茎の内部を食害するもの、葉肉内に潜行するものが多い。成虫は、ほとんどの種が衛生害虫として問題とならない。
	成虫、灰褐色、7mm		
和室のテーブルの上に多数の虫が死んでいた。		アブラムシ類の一種 (カメムシ目)	アブラムシ類はいろいろな植物に好んで寄生し、気象条件や栄養条件に恵まれると大発生することがある。初夏には有翅形の雌が現れ、寄生植物へ移動する種が多くみられる。また9月から11月には寄生植物から移動し、越冬せずに死滅する。
	成虫、茶褐色、0.8mm		

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
段ボールの中に幼虫が多数みられた。	 <p data-bbox="443 546 692 577">幼虫、乳白色、8mm</p>	ゾウムシ科の幼虫 (コウチュウ目)	ゾウムシ科の成虫は葉上、枯れ木、倒木、落ち葉など生息場所が多岐にわたる。成虫、幼虫ともに植物質を食する。ゾウムシ科には、老熟幼虫が寄生植物から脱出し、蛹化のために土中へ移動する種がいる。
着用している衣服に虫がついていた。	 <p data-bbox="443 891 692 922">成虫、乳白色、0.5mm</p>	ダニ目の一種 (ダニ目)	形態は種により多様であるが、いずれも小型で、体長1mm以下のものが多い。生活環境や生態も非常に多様である。人とのかかわりが深いものとしては皮膚炎や気管支炎等のアレルゲンとなるチリダニ類、食品害虫となるコナダニ類や農業害虫とされるハダニ類等が挙げられる。
自宅水道メーター内でクモを発見した。	 <p data-bbox="443 1272 692 1303">成虫、黒褐色、7mm</p>	クモ目の一種 (クモ目)	体色及び腹部に特有の斑紋がみられないことから、ゴケグモ類ではない。検体は破損が激しく、種の同定は不可能であった。
マンションの通路でクモを発見した。	 <p data-bbox="443 1608 692 1639">成虫、黒褐色、4mm</p>	クモ目の一種 (クモ目)	体長、体色及び腹部に特有の斑紋がみられないことから、ゴケグモ類ではない。検体は乾燥が激しく、種の同定は不可能であった。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
施設内のグレーチング裏側、カラーコーン裏側でクモ6匹及び卵のう6個を発見した。	 <p>腹面</p>	セアカゴケグモ2個体 (クモ目)	体色は黒く、背面中央部に赤い縦長の斑紋、腹面にゴケグモ類特有(砂時計型)の赤い斑紋がみられる。
雌成虫、黒色、腹面と背面に赤い斑紋、8mmと5mm	 <p>背面</p>	ハイイロゴケグモ2個体及び卵のう6個 (クモ目)	体は褐色または灰色で個体差がある。腹部背面の正中線上に4個の白点がある。腹面に赤い斑紋がみられる。
雌成虫、背面は灰色、腹面は赤い斑紋、9mmと8mm	 <p>腹面</p>	 <p>背面</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>セアカゴケグモやハイイロゴケグモは、外来種で、メスのみ毒をもちます。</p> <p>巣はベンチの下や側溝の蓋の裏側、ガードレールの支柱付近など地面に近い直射日光が当たらない場所に造られます。咬まれると激しい痛みや腫れを生じることがあります。重症化することは少ないですが、万一激しい痛み、発汗、発熱などが現れた場合には、医療機関で診察を受けてください。</p>  </div>
卵のう、乳白色、金平糖状、約8mm		クモ目の一種2個体 (クモ目)	※腹部にゴケグモ類特有の赤い斑紋はみられなかった。
成虫、黒褐色、7mm		成虫、黒褐色、4mm	
			